

思いやり

第 6 号

〔発行日〕
平成30年 6月11日

〔発行所〕
名農高生徒指導部



高校総体終了、農ク県大会へ

白熱した熱戦が繰り広げられた高校総体も無事に終了しました。各運動部のみなさんご苦労様でした。人それぞれに悲喜こもごも様々な思いがあったことと思います。「悔しい思い」「嬉しい思い」その中でも充実したひとときを味わうことが出来たのではないのでしょうか。

3年生のみなさんは、この大会を最後に引退し次の目標『進路実現』に向けてラストスパークをかけて行くこととなりますが、大会で勝ち抜いた人は、次の東北大会・全国大会に向けてさらにレベルアップさせていくこととなります。貴重な体験となる『今』という時間を大切にかみしめて、ぜひ次の大会でも名農健児の意気込みを見せてほしいと思います。

さて、高校総体も終わり、いよいよ農業クラブの県大会が迫ってきました。各区分の代表に選ばれた人たちは、準備や調整に大忙しだと思います。運動部と掛け持ちの人は、切り替えをスムーズに行わなければなりません。そして、原稿の暗記。気持ちも一杯一杯だと思いますが、うまくコントロールしてほしいと思います。そして、その選手を支える「仲間」が『チーム名農』なのです。しっかりサポートと応援をして、名農で開催される農クの県大会を成功させよう。

各競技に参加する選手諸君は、「人事（人のなし得ること）を尽くして天命を待つ」ことになるとと思いますが、悔いを残さず、しっかり全力を尽くしてほしいと思います



考えて動く(行動する)習慣を！



「君にとって高等学校って何？」突然こんな質問をされたとき、あなただったら、何と答えますか？余りにも当たり前すぎて、何言ってるの。とあしらわれてしまいそうな気がします。

でも、君たちも高校選択の時には、いろいろと調べたり、悩んだり、相談したりして、名久井農業高校を自分で選んだものだと思います。高校に入ったら、「これをやろう」「あれもやってみよう」etc 様々な夢と希望を持って入学してきたものだと思います。

今、その気持ちが薄らいでいませんか？高校入学を決めた「あの時の気持ち」を忘れてはいませんか？高等学校でしかできないことを達成させるために、努力していますか？協道にズレていませんか？入学式の時の気持ちを思い出してみてください。せつかくの限られた3年という短い時間なのです。もっと大切にしてほしいと思います。

いつも授業の時に、話をすることがあります。「考えて動きなさい」「言われたことだけやればいい」では、ただの「指示待ち」です。言われないと動けない人間になってしまいます。

授業や実習のたびに、同じセリフが出てきます。そのために「今やっていること」を考え、次に何をやればいいのか。を考える習慣をつけてほしいのです。そして『言われたことに+（プラス）1（ワン）』の行動を。これをやっておくことで、次の仕事がやりやすくなるのです。

普段から考えて動く習慣をつけてください。今の高校生活で身につけてほしいと思っています。高校生活を楽しく送るために、今何をすべきか、それをやりやすくするために、考えて動く。ぜひこの習慣を身につけてもらいたいと思います。



生徒の本分

勉強する・学校を休まない・きまりを守る